

# 国際学会に参加して感じたこと

工学府電気電子工学専攻M1 川越 敬久



## 国際学会への挑戦

2013年7月8日～7月13日に韓国の済州島にて開催されたInternational Smart Grid Conference & Exhibition 2013 (ISGC&E2013)に参加しました。私の研究は、電力系統の安定運用に悪影響を及ぼす太陽光発電の出力変動を、電気自動車を利用して抑制し、そのエネルギーを有効利用するシステムの構築を目的としています。

初海外・初学会ということもあり、国際学会は非常に大きな挑戦でした。この挑戦によって、私は2つのこと学ぶことができました。まず1つ目

は、「自分の研究レベル」です。他大学の学生、企業の方々の発表を聞き、研究への姿勢や思考力において、通用する点や未熟な点を知ることができました。2つ目は「向上心」です。今回の国際学会には、東北の大学の学生も参加していました。他大学の学生と専門科目や英語について議論することによって、自分にはなかった考え方に刺激を受けました。そして、もっと学問・研究に対する意識を高めたいと感じました。

## 英語に関して実感したこと

今回の発表に至る経緯の中で、私



発表の様子

は自分の現在の英語力を実感することができました。まず、私の英語力で対応できなかったことは、質疑応答です。相手の質問を聞き取り、その答えを英語で表現するということが今の私にはできませんでした。

一方、対応できたこともあります。それは、英語で論文を書き、発表すること、買い物や観光に必要な英会話をすることです。

後輩の皆さんの中には、英語が得意ではない方もいるかもしれませんが、私もまさにその一人です。しかし、少し努力をすることで、国際学会で発表することはできます。また、海外で過ごすために必要な最低限のコミュニケーションを取ることもできます。これらを経験するには「挑戦する」という意思を持たなければいけません。私は今回の経験から、質疑応答ができるように、英語力をより高めていきたいと強く思いました。ぜひ皆さんも研究成果を国際学会の場で披露して、自分の世界を広げてみて下さい。

## 城山日出峰 (ソンサンイルチュルボン)

今回の学会では、テクニカルツ

アーというものがあり、済州島のスマートグリッド施設を見学した後、世界遺産にも登録されているソンサンイルチュルボンへ行きました。頂上まで登ると想像以上の壮大な景色に感動しました。



城山日出峰にて

最後に、国際学会参加にあたり、経済面で奨学金を援助していただいた明専会、論文執筆および発表資料作成に関してご指導いただいた三谷康範教授に厚く御礼申し上げます。